

# 仕事と生活の調和の実現に向けた 文部科学省の取組について



第21回 仕事と生活の調和連携推進・評価部会  
平成24年3月28日(水)



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

仕事と生活の調和実現に向けた文部科学省における23年度取組状況及び24年度取組予定事業

**【1】就労による経済的自立**

①勤労観・職業観を形成し、社会人・職業人として必要な能力を身につけた人材を育成するため、学校段階を通じたキャリア教育・職業教育を体系的に充実させる。また、キャリア教育を進めるにあたっては、社会・経済・雇用などの基本的な仕組みや労働者としての権利・義務、仕事と生活の調和の重要性など、キャリアを積み上げる上で必要な知識の理解についても促進を図る。

施策・事業名	概要	24年度予算案 (千円)	23年度予算額 (千円)	新規・継続等区分 (H23⇒H24)
東日本大震災からの復興を担う専門人材育成事業	震災により大きく変化した被災地の人材ニーズに対応し、復旧・復興の即戦力や次代を担う専門人材の育成及び地元への定着を図るための推進体制を整備し、被災地以外の教育機関等による支援も含め、専門人材育成コース等の開発・実証・開設や専修学校等の就職支援体制の充実強化を図る。	450,000		新規
大学生の就業力育成支援事業	大学生の就業力を向上させるため、大学生の卒業後の社会的・職業的自立につながる就業力育成の向上に対する大学の教育改革を支援。		2,866,500	廃止
目指せスペシャリスト	社会や地域のニーズに応じて、スペシャリストの育成のために先導的な取組を行う専門高校等に対する支援を行うことを通じて、職業教育の拠点としての専門高校の活性化を図り、将来の専門的職業人を育成するための取組を補助する。		学校・家庭・地域連携協力推進事業 (9,450,272)の内数	廃止

②現在のジョブ・カード制度等を発展させ、非正規労働者を含めた、社会全体に通じる職業能力開発・評価制度を構築する。また、職場や地域での活動に必要な能力向上の機会を拡充するため、社会人の学習目的に応じた教育プログラムの提供や学習成果が適切に評価されるような枠組みの構築等により、社会人の大学や専修学校、公民館等における学習を促進する。

施策・事業名	概要	24年度予算案 (千円)	23年度予算額 (千円)	新規・継続等区分 (H23⇒H24)
成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進	産学官の連携により、中核的専門人材養成を戦略的に推進していく観点から、各成長分野における取組を先導する産学官コンソーシアムを組織化し、我が国の成長を支える中核的専門人材養成のための新たな学習システムの実証等を通じた基盤を確立する。	478,598	87,446	継続

**【2】多様な働き方の選択**

①育児・介護休業、短時間勤務、短時間正社員制度、テレワークといった多様な働き方を推進するとともに、パート労働者の均衡待遇の推進、働く意欲と能力のある女性や高齢者の再就職や就業継続の支援、促進等、その多様な働き方を推進するための条件を整備する。

施策・事業名	概要	24年度予算案 (千円)	23年度予算額 (千円)	新規・継続等区分 (H23⇒H24)
女性研究者研究活動支援事業	出産・子育て・介護と研究を両立するための環境整備を行う大学等に対して、コーディネーター、出産・子育て・介護期間中の研究活動を支える研究支援者の雇用経費等を支援する。	726,782	952,271	継続
女性研究者養成システム改革加速事業	女性研究者の採用割合等が低い分野である、理学系・工学系・農学系の研究を行う優れた女性研究者の養成を加速する。	577,796	656,179	継続
特別研究員事業(RPD)	優れた男女の研究者が、出産・子育て等による研究中断後に、円滑に研究現場に復帰できるよう研究者個人に対して研究奨励金を給付する。	608,160	564,720	継続